

令和5年度 山ノ内町立西小学校 グランドデザイン

学習指導要領

豊かな人間性、自ら学び考える力など「生きる力」の育成

ふるさとを愛し、慈しみの心と未来を切り拓く力を育てる学校

学校教育目標

考える子 やさしい子 やりぬく子

第二次山ノ内町教育振興基本計画

未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土（まち）

「生き生きと学び、真理を求め続ける子」

- ・周りの物事に対し、自ら問いを持つ
- ・自ら考え、判断し、表現する
- ・お互いの考えを尊重し、共に高め合う

「慈しみ合える、心根の温かい子」

- ・人や自然や物を敬い、慈しむ
- ・礼を正し、明るい挨拶を交わす
- ・相手の立場に立って考え、励ます
- ・自分に誇りを持ち、大切にする

「正義を愛し、たくましく心身を鍛える子」

- ・正しく判断し、自分を律する
- ・目標を持ち、根気よく頑張りぬく
- ・体を鍛え、命を慈しむ

令和5年度 重点

- 目指す子ども像：自ら問いや願いを持ち、自他と対話しながら学んでいく子ども
- 支援の視点：問いや願いが生まれる場を創り、見守る

- 子どもが主体となって学ぶ授業：子どもに問いや願いが生まれる場創り 信州型UDを視点にした評価と改善
- 子どもと教師でつくる特色のある活動：地域の「ひと・もの・こと」に学び、地域へ働きかける活動
- 道徳教育の充実：体験に裏打ちされた価値判断を行っていく道徳授業

E S Dの推進：自分のまわりの「ひと・もの・こと」の今と未来を思い、働きかけていく子ども

E（いつまでも）S（すみつづけたいまちを）D（どうつくる？）

<目指す教師像>

- 一人ひとりの子どもに目を向け、子どもの理解を深めていく教師
- 子どもが「自分の思いを聞き、認め、見守ってくれている」と感じる教師
- 仲間と語り、学び合って、指導観・指導方法を更新していく教師
- 働き方を工夫し、ゆとりをもって子どもと向き合う教師

<職員研修の充実>

- すすんで授業を公開して省察し、子どもを理解する感覚を磨きます。
- 地域素材を生かした実践と研修を通して、横断的なカリキュラムをデザインし実践する力を高めます。
- 特別支援教育・人権教育の実践と研修を通して、人権感覚を高めます。
- 情報活用の実践と研修を通して、情報機器・システム等を安全かつ効果的に活用する力を高めます。

<支援の視点>

- 子どもの姿を語り、組織で課題に対応
- 子どもの実態に即した学びの場の工夫

<地域連携・信州型コミュニティスクールの活性化>

- 地域に学びの場を求め、地域の「ひと・もの・こと」に学び、学びの姿を地域に発信します。
- 地域の方に外部講師として学習活動にご協力をいただき、地域の方とふれ合いながら、地域の特徴を理解したり、地域のよさを感じとったりできるようにします。
- 地域コーディネーターとの連絡を密にして、学校職員と地域の方で、子どもの実態と目指す子どもの姿を語り合い、支援の方向を共通理解してともに子どもを育てます。
- ランチルームを交流ルームとして地域に開放して、地域の方と子ども・学校職員が日常的に交流し、語り合ったり相談したりできる場とします。